OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

| | |
|---|---|
| Title | ＜紹介＞伊藤鉄也編『もっと知りたい池田亀鑑と「源氏物語」～第2集～』 |
| Author(s) | 松本, 大 |
| Citation | 語文. 2014, 102, p. 39-39 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/70935 |
| rights | |
| Note | |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

## 伊藤鉄也編『もっと知りたい　池田亀鑑と「源氏物語」～第2集～』

松本　大

国文学研究を志す者で池田亀鑑の名を知らぬ人はまずいないと言っても過言ではあるまい。亀鑑の業績やその価値について今更説明する必要もないが、特に中古文学の研究者にとっては、必ずどこかで対峙しなければならない偉大かつ巨大な壁である。本書は、亀鑑の『源氏物語』関連の事蹟を中心に、池田亀鑑という人物像やその周辺に光を当てることを目的としており、シリーズの第2集にあたる。

本シリーズの編集は伊藤鉄也氏によるものである。伊藤氏といえば、『源氏物語別本集成』に代表される、『源氏物語』別本研究の大家である。本書「はじめに」には、「本書を編集するにあたっては、これから『源氏物語』の研究を志す人々を強く意識している。『源氏物語』の物語本文にもっと目を向けてほしいという思いからである。活字の校訂本文だけを読むのではなく、写本として書き継がれてきた物語本文のありようも確認して見つめてほしい。」とあり、物語読解に偏重した現在の研究動向に警鐘を鳴らしている。ここからも分かるように、本書は、『源氏物語』をめぐる近現代の動向・実態を探ることを主眼としており、『源氏物語』の「読み」を試すものではない。

本書には、永井和子氏と伊藤氏による前田善子・紅梅文庫をめぐる対談、池田亀鑑賞に関する伊井春樹氏と杉田昌彦氏の講演、安野一之氏・原豊二氏・岡嶌偉久子氏の論考、第1集より続く小川陽子氏・原氏・池田研二氏・伊藤氏の連載、妹尾好信氏・原氏・伊藤氏のコラム、更に資料編として、昭和初期に東京大学で開催された二回の源氏展覧会の目録、及び池田亀鑑のアルバムを載せる。紙幅の都合上、全ての内容を紹介することは出来ないが、写本の伝来・紹介から亀鑑の生い立ちや第二次世界大戦との関わり方に至るまで、広範で多岐に亘る。注目すべきは、本書所収のこれらの論考が、亀鑑に対して決して迎合的な態度を取るわけではないという点であり、時には研究として批判的な処置を見せるものも多い。

本シリーズの刊行に対して、池田亀鑑もついに研究対象になる時が来たか、というのが率直な感想である。亀鑑の関わった数々の事蹟は、『源氏物語』を中心とした平安時代文学作品に対する、近現代における受容・享受そのものと位置付けられよう。亀鑑の人物像のみならず、その周辺までも視野に入れて編纂された本シリーズは、時とともに埋もれてしまいがちな重要な情報を後世に伝える有益な資料にもなる。今後の刊行も待ち望まれる。

なお、本シリーズの刊行に際して、池田亀鑑賞が創設された。詳しくは、池田亀鑑賞公式サイト（http://www.shintensha.co.jp/sp/ikeda_kikan/）を参照していただきたい。

（新典社、二〇一三年八月、三八二頁、三、〇〇〇円）

（まつもと・おおき　本学大学院博士後期課程）